

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について  
病害虫発生予報第1号を下記のとおり発表したので送付します。

平成22年度病害虫発生予報第1号

平成22年4月9日  
岡山県

予報概評

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	作物名	病害虫名	発生時期	発生量
麦類	赤かび病	並	並	タマネギ	べと病	—	やや多
モモ	灰星病 カメムシ類	並 並	並 多	イチゴ	ハダニ類	—	並
イチゴ	灰色かび病	—	並				
トマト ナス レタス							

1 普通作物

(麦類)

(1) 赤かび病

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

ア. 麦の生育は全般的に平年並である。

イ. 赤かび病は出穂期以降の気温が高く、湿度が高いまたは降水量が多いと発病が助長される。4月2日の1か月予報によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並とされており、発生量は平年並と予想される。

ウ. 植物防疫情報第7号（平成22年3月30日発表）参照。

## 防除上の参考事項

- ア. 本病の第一次伝染源である子とう殻の形成が盛んになるのは、日平均気温が13℃以上で降雨のあった直後である。子とう胞子の飛散が盛んになるのは日最高気温が15℃以上で、日最低気温10℃以上、湿度80%以上または降雨直後である。この条件からみると岡山市の観測値では、3月下旬は気温が低く推移したため好適条件日の出現が少なく、3月20日に子とう殻形成好適日、4月1日に子とう胞子飛散好適日が出現したのみであるが、今後の天候次第では注意を要する。
- イ. 国内産麦類の検査規格では、赤かび病による被害粒が10,000粒中5粒以上混入すると「規格外」となる。

## 2 果 樹

(モ モ)

### (1) 灰星病 (花腐れ、芽枯れ、枝病斑)

予報内容

発生時期 並

発生量 並

予報の根拠

ア. モモの開花時期は、ほぼ平年並である。

イ. 4月2日の1か月予報によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並とされており、発生量は平年並と予想される。

### (2) カメムシ類

予報内容

発生時期 並

発生量 多

予報の根拠

ア. 4月～7月のチャバネアオカメムシ及びクサギカメムシ予察灯飛来数は、前年2月～5月のスギ・ヒノキ花粉飛散数との間に高い正の相関がある。岡山県における昨年2月～5月のスギ・ヒノキ花粉飛散数は、南部、北部ともに平年より多かった。

イ. 花粉飛散数を利用した予測式によると、本年4～7月の予察灯への飛来予測数は、チャバネアオカメムシは赤磐市で1198頭(平年235頭)、津山市で636頭(平年200頭)、クサギカメムシは赤磐市で55頭(平年19頭)、津山市で682頭(平年267頭)であり、ともに平年より多い。

エ. 4月2日の1か月予報によると、4月2週目以降の気温は平年並とされており、発生時期は平年並と予想される。

## 防除上の参考事項

- ア. 果樹カメムシ類越冬世代の発生が多くなる時期は5月以降になると予想される。今後の岡山県病害虫防除所からの病害虫発生予察情報に留意し、適切な防除に努める。

### 3 野菜

#### (1) イチゴ、トマト、ナス、レタスの灰色かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- ア. 4月7日の巡回調査によると、イチゴでの発生は認められず（平年0%）、トマト、ナス及びレタスでの発生量も平年並であった。
- イ. 4月2日の1か月予報によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

#### (2) タマネギべと病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- ア. 4月7日の巡回調査によると、発生圃場率は55.6%で、過去7年間で2番目に高く、越年罹病株は、平年よりやや多かった。
- イ. 4月2日の1か月予報によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

防除上の参考事項

- ア. 気温15℃前後で雨が多いと多発生しやすい。

#### (3) イチゴのハダニ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- ア. 4月7日の巡回調査によると、発生量は平年並であった。
- イ. 4月2日の1か月予報によると、気温は平年並か低く、降水量は平年並とされており、発生を助長する条件ではない。

### 病虫害発生予察情報テレホンサービス

岡山県病虫害防除所では、主要病虫害の発生状況や防除に関する情報を迅速にお知らせするために、テレホンサービスを実施しております。気軽にご利用ください。

電話：086-955-2224

